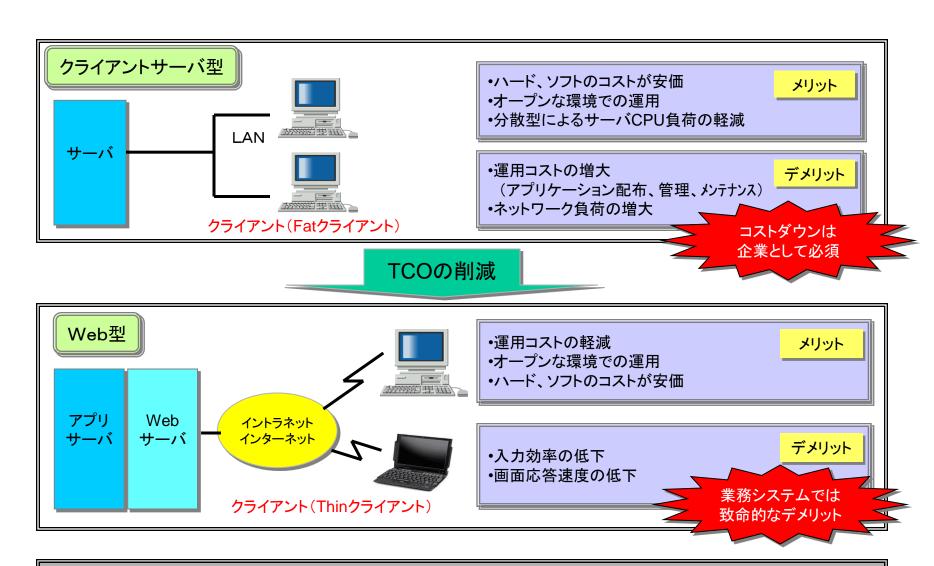
Biz-Conversion Service for Microsoft® Visual Basic ご紹介

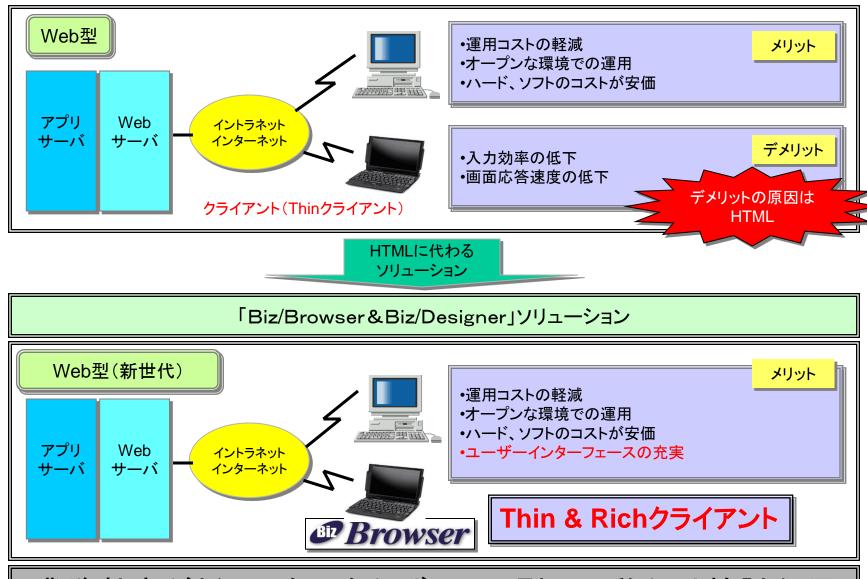
株式会社エム・アール・オー

1)「クライアントサーバ型」→「Web型」への移行に関する問題点



業務効率が確実に低下する為、移行すべきか疑問?

2) Web型システムのデメリットを解消する解決策



業務効率が低下しないならば、Web型への移行は検討必須

3)「クライアントサーバ型」→「Web型」への移行に関する要望

(移行に関する顧客要望)

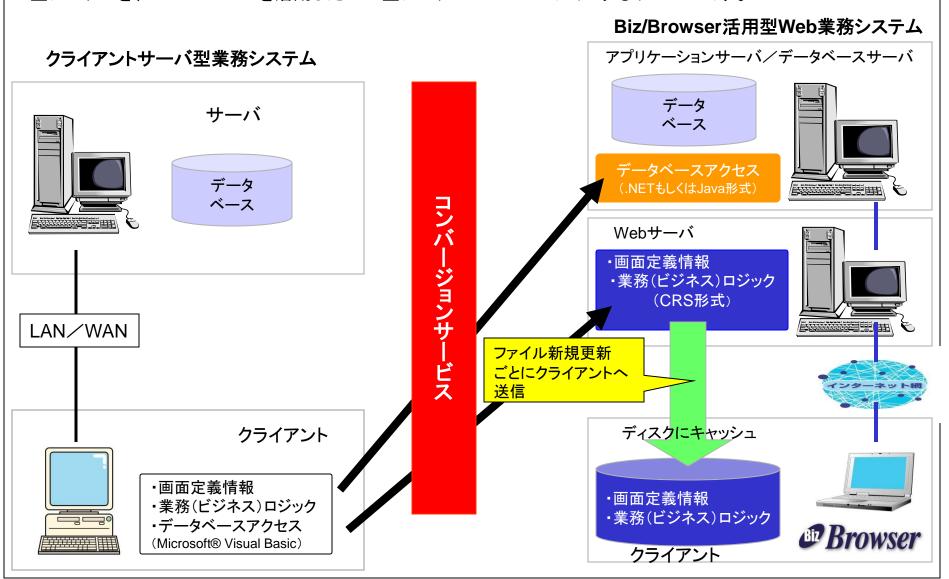
- •既存資産の有効活用
- •短期間での移行作業
- •将来性を見据えたシステム構築
- •既存システムの操作性/応答速度の実現

「Biz/Browser」&「Biz/Designer」&「コンバージョンサービス」

- •既存資産の有効活用
 - → GUI及びビジネスロジックをCRSファイルへ変換
- •短期間での移行作業
 - → コンバージョンサービスを利用した短期間でのWeb化
- •既存システムの操作性/応答速度の実現
 - → Windowsユーザを意識したユーザインターフェース対応
 - → 通信負荷軽減(データのみ)による素早い応答性の対応

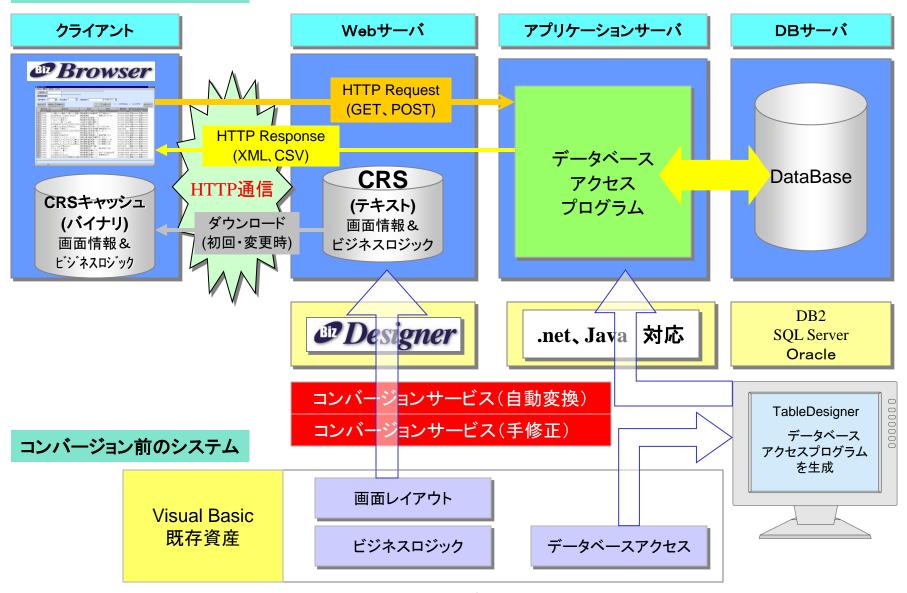
4) コンバージョンサービス提供イメージ

•「Biz-Conversion Service for Microsoft® Visual Basic」とは既存のVisual Basicで構築したクライアントサーバ型システムを、Biz/Browserを活用したWeb型システムにコンバージョンするサービスです。



5) コンバージョンサービス詳細

コンバージョン後のシステム

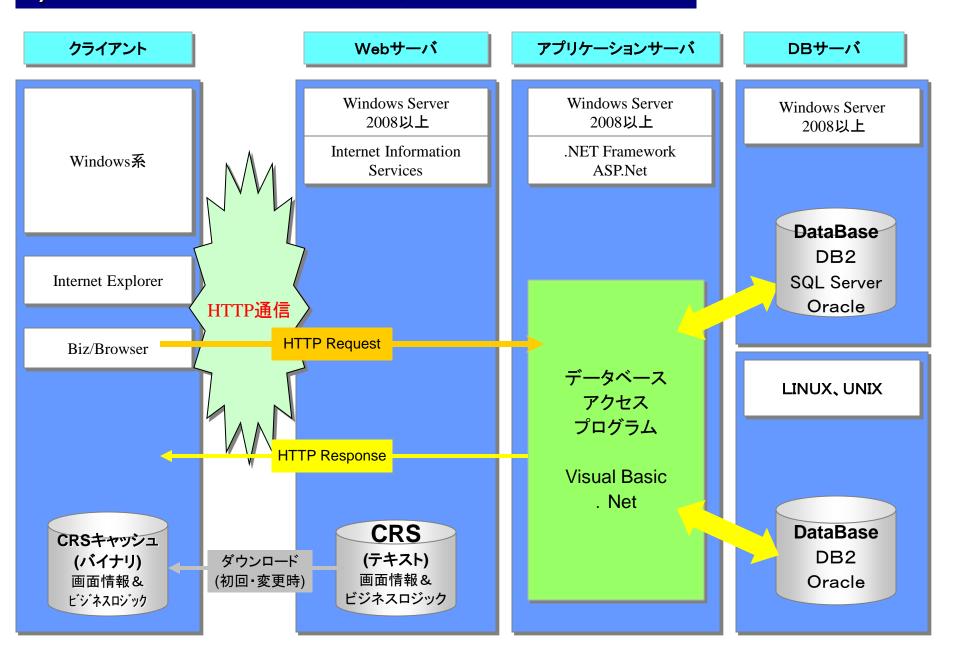


※帳票、市販コントロール、WindowsAPI等につきましては、個別対応(ご相談)とさせて頂きます。

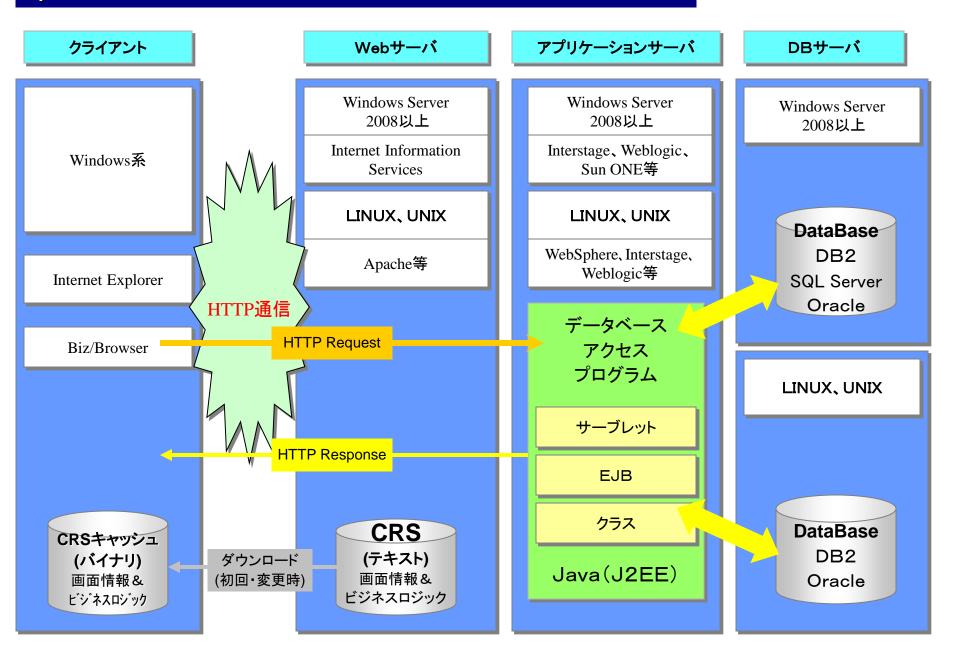
6) コンバージョンサービスによるメリット

- •既存資産(VB)のインターフェースを継承
 - → GUI及び入力インターフェースを継承
 - → 運用にあたっての再教育は不要
- •運用稼働後におけるメンテナンスの容易性
- → ビジネスロジックのコード部はVBソースコードの位置のまま コメントも含めコンバージョンされているため事後のメンテナ ンスが容易に可能
- •アプリケーションの再配布が不要
 - → 修正が行われたアプリケーションは、WebサーバーにCRS ファイルを配置するだけでクライアントへの配布が可能
- •ソースコード等の再利用が可能
- → コンバージョンサービス後のCRSファイルはテキスト形式のため、新規開発等におけるソースコードの再利用が容易に可能

7) コンバージョンサービス後の動作環境(. NET)



8) コンバージョンサービス後の動作環境(Java)

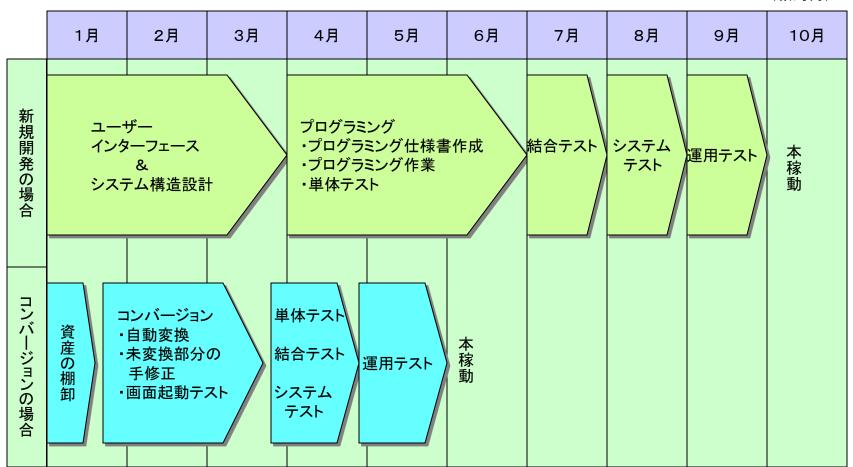


9) コンバージョンサービスを使用した場合の開発作業期間について(例)

・既存資産(Visual Basic)を新規にWebシステムで開発した場合と、コンバージョンを行なった場合の相対スケジュールの比較を以下に示します。

「システム規模を100本と想定した場合」

(相対月)



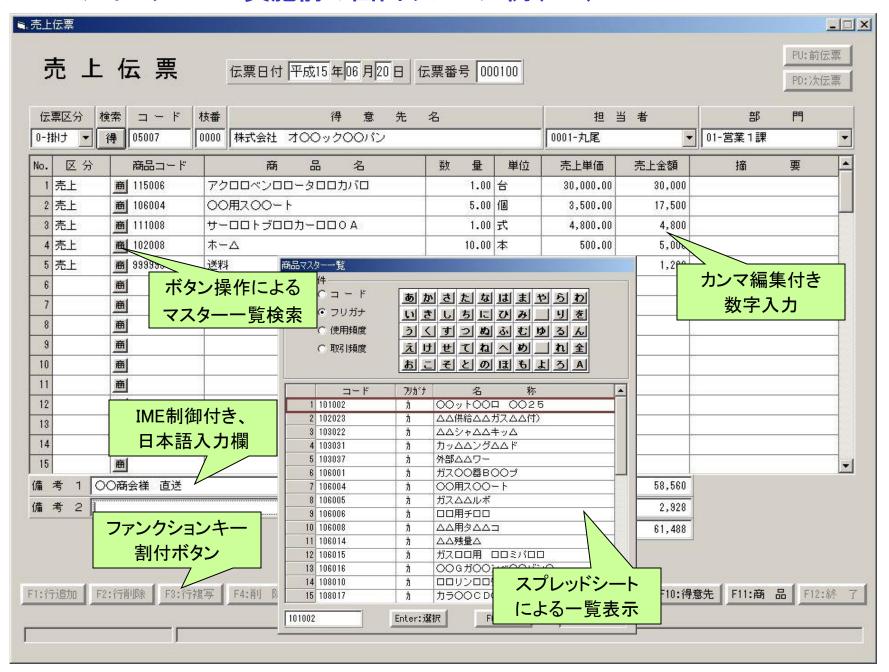
10) コンバージョンサービスのメニュー体系について

Biz-Conversion Service for Microsoft® Visual Basic 既存資産のソースをCDかメールにて受け 既存資産の棚卸支援サービス 取り、コンバージョン費用を概算で算出。 ①自動変換の作業費用 ②未変換部分の代替設計費用 概算見積作成サービス ※無償 ③未変換部分の構築作業費用 ④画面起動テストの作業費用 サンプルシステム構築サービス 評価用にWebで動作する最低限のシステ ムを構築します。 コンバージョンサービス(自動変換) 既存資産を単純コンバージョンします。 変換できなかった部分に関してはレポートを 提出します。 コンバージョンサービス(未変換部分の構築) 未変換部分の代替設計を行い、仕様を確定 した上で構築作業を行ないます。 画面起動テストサービス ファイル(データ)移行支援サービス テスト支援(単体、結合、システム、運用テスト) 基本サービス部分

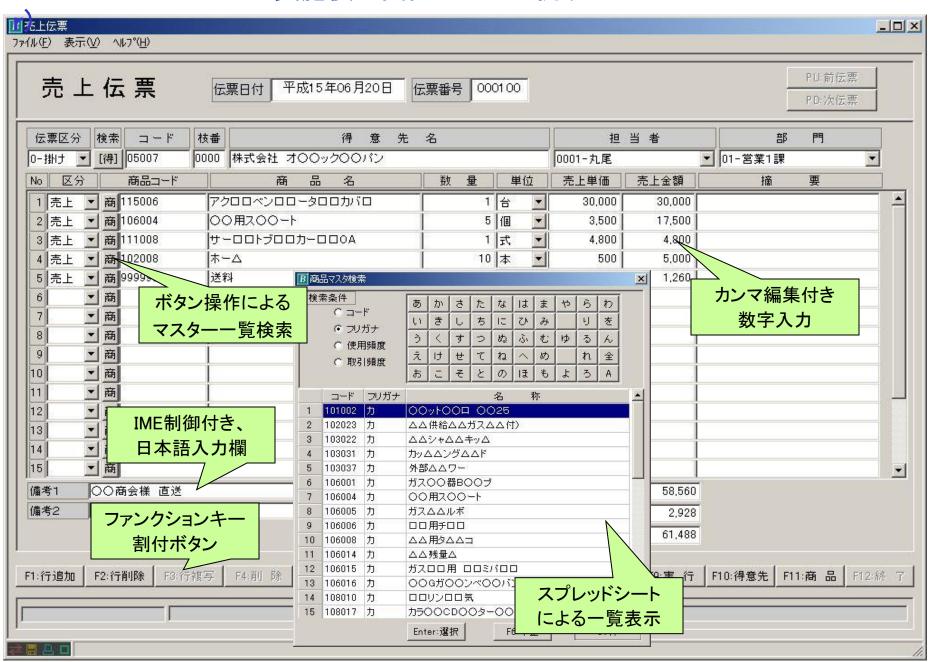
(ご参考資料)

- ・コンバージョンサービス実施前/実施後画面サンプル例
- •「Biz/Browser」とは
- •「Biz/Designer」とは

コンバージョンサービス実施前の画面サンプル例(VB)



コンバージョンサービス実施後の画面サンプル例(Biz/Browse



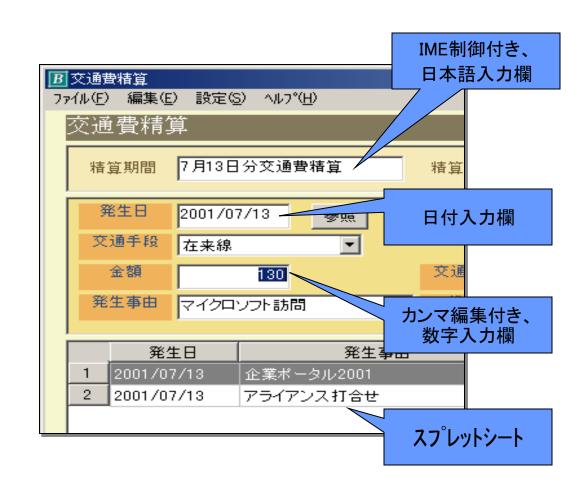
「Biz/Browserとは」

(特長その1)

業務システムに必要な「効率的な入力操作」をブラウザ側で実現します。

メインフレーム、クライアントサーバ では当たり前の

- キーボードフォーカス制御
- ・ファンクションキー等の任意割付
- 自由で正確なレイアウト
- ・入力検査(エラーチェック)
- ・データの書式化(日付等)
- •FEPの自動制御設定
- 簡易帳票印刷機能等を実現します。

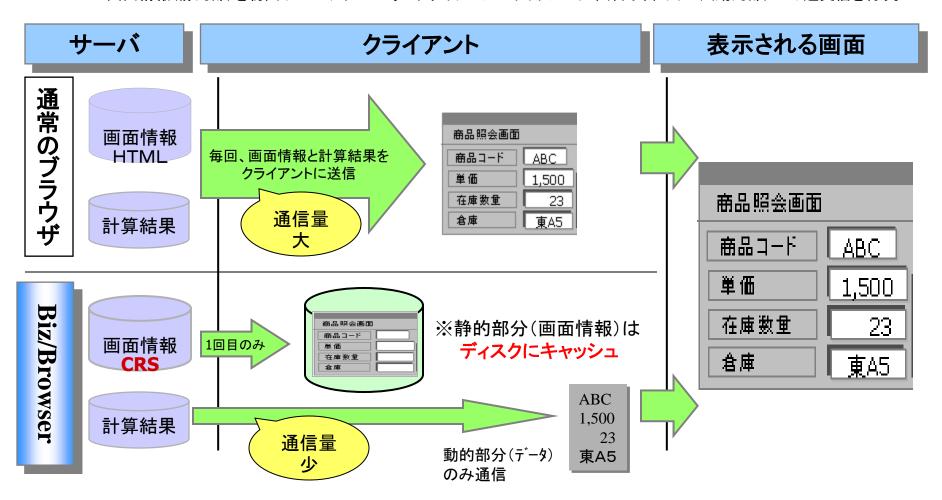


(特長その2)

業務システムに要求される「快適な画面応答速度」を実現します。

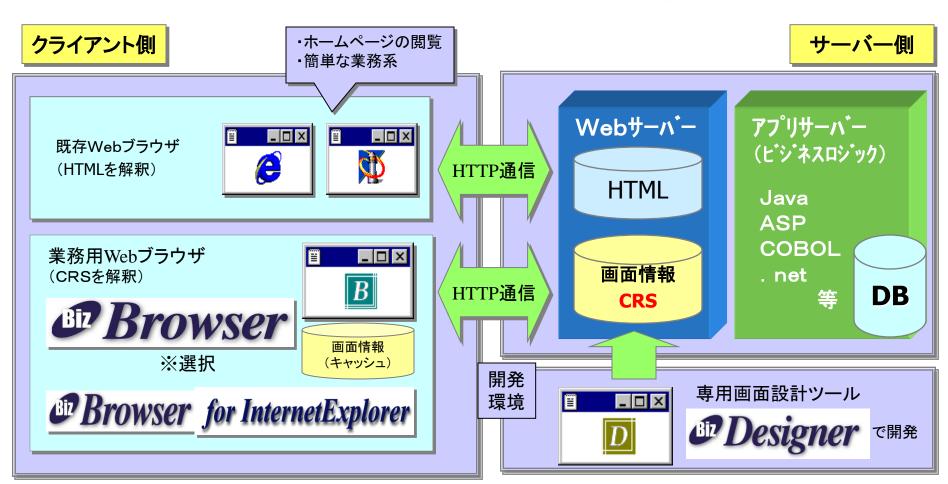
※通信量を削減する仕組

→ 画面情報(静的部)を初回サーバアクセス時にクライアントにキャッシュし2回目以降はデータ(動的部)のみ送受信を行う。



「Biz/Browser」を導入した場合のシステム構成

標準Webシステムの構成にて利用可能 (プラウザ⇔Webサーバー⇔アプリサーバー⇔DB) 画面定義情報を業務システムには不向きなHTMLではなく『CRS』で作成。



「Biz/Designerとは」

業務システムに要求される「画面」「入力制御」の開発を 生産性のよい開発ツール Designer で実現します。

- ·ビジュアルな開発環境で 効率よく画面レイアウトを 作成
- ·GUI、スクリプト記述の 2WAY設計が可能
- ·スクリプト(CRS)の記述 方法はJavaScript互換
- ·作成したアプリケーション をその場でテスト&デバッ グが可能
- ·表計算ソフト的な、データ の自動再計算機能

